

皆野町の学力向上の取組を 全国町村教育長会で発表



豊田教育長

新井校長

浅見教諭

〈読解力育成の実践に全国から反響〉

令和元年5月9日～10日に、全国町村教育長定期総会・研究会が東京の銀座プロッサムにて開催されました。豊田尚正教育長、皆野中学校 新井孝彦校長、同校研究主任 浅見寿文教諭の3人がリーディングスキルテスト(RST)実践に至るまでの学力向上の取組について発表しました。

RSTとは、国立情報学研究所の新井紀子教授が開発したテストです。AI(人工知能)が発達するこれからの社会で、人間が生き抜く上で必要な資質である読解力を測定するものです。皆野町はいち早く導入し、皆野中学校でその活用について研究実践しているところです。

発表の反響は大きく、滋賀県愛荘町、栃木県那須町などから視察の申し出がありました。また、以前から交流を続けている秋田県三種町とも学力向上に関して一層の交流を図っていきます。

次のページで発表内容を紹介いたします。